

## 多様な性を知りサポートするためのガイドラインについて

### 1 実施に至る背景

近年、LGBT 等の性的指向・性自認に関する偏見や人権侵害の報道がされている。この偏見をなくすには、まず正しく理解することから始まると考え、市職員（教職員も含む）としての姿勢や施設の管理・運営の上で押さえておくべきポイントをまとめた「ガイドライン」を策定した。

### 2 目的

私たち職員が、性的指向・性自認によって社会的に受ける困難を抱える人に気づき、他者への理解を深め、個を尊重する人権の課題として、窓口の対応や施策のあり方などについて真摯に捉え直し、これからの市政を進める上での指針とするもの。

### 3 概要

- (1) 性の多様性についての正しい理解、個人でできること
- (2) 市職員向けに当事者である市民と接する上での配慮の仕方
- (3) 教職員向けに当事者である児童生徒に対するの配慮の仕方
- (4) 職場内での差別やハラスメントの起きない対応の仕方
- (5) その他（専門機関の紹介、関連情報）

### 4 効果

国際化や ICT 化など社会環境が目まぐるしく変化するなかで、マイノリティの人権に配慮することを基本に対応していくことが人権尊重のまち「みんなの笑顔あふれる栃木市」の実現に繋がると期待する。

#### 【問合せ】

生活環境部 人権・男女共同参画課  
担当 小林 TEL 0282-21-2161